

## 平成27年度 社会福祉法人 伊東市社会福祉協議会 事業報告

「地域をつなぐ絆の再構築」を基本目標とする地域福祉活動計画に基づく事業計画に沿って、地域住民・関係諸団体並びに行政の理解と協力により住民参加を基軸とする事業を実施し、地域福祉の推進を図るために以下の諸事業に取り組みました。

### 1 法人運営事業

法人の経営強化を図り、地域福祉の推進の中核組織として役割を果たすための組織運営事業ほか、次の事業を実施しました。

#### (1) 社会福祉協議会の組織及び財政基盤の強化

会員制度を見直し、市民会員及び市民賛助会員に会員シールを発行し、市民が会員の組織であることを周知して、会員加入を明確にするとともに、会員の拡充を図った。

普通会費	市民会費	17,294世帯
	施設事業所会費	19施設（市内社会福祉施設、事業者連絡協議会）
賛助会員	市民賛助会費	840篤志家・事業所
	法人等賛助会費	5会社・組合の寮保養所、単位老人クラブ

#### (2) 理事会・評議員会の開催

##### ① 理事会の開催

年 月 日	審 議 案 件
平成27年 5月 1日 (出席者 18名)	会長の選出について
平成27年 5月22日 (出席者 16名 書面表決 2名)	事務局職員の給与に関する規程の一部を改正する専決処分報告、定款の一部改正(案)、平成26年度 事業報告並びに各会計決算の認定、顧問の委嘱について、会長の報酬額について、第39回伊東市社会福祉大会開催の報告と第34回ふれあい広場の開催の報告
平成27年 8月25日 (出席者 17名)	就業規則の一部を改正する規則(案)、平成27年度資金収支補正(案)の認定、伊東市保健福祉センターの申請及び平成27年度会費実績報告、第34回ふれあい広場の実施の報告
平成28年 1月26日 (出席者 14名 書面表決 4名)	個人情報保護に関する方針の一部改正(案)、個人情報保護規程に関する一部改正する規程(案)、平成27年度 資金収支計算書補正予算(案)の認定、平成26年度赤い羽根助成事業在宅支援用普通自動車購入の契約の締結について、運営資金の短期借入について、新保健福祉センター建設に伴う介護予防拠点施設の取り壊し後の代替え施設について
平成28年 3月29日 (出席者 13名 書面表決 3名)	平成27年度資金収支計算書補正予算(案)、平成28年度 事業計画(案)、平成28年度 資金収支計算書予算(案)の認定、応急貸付回収不能金の欠損処分(案)、副会長の選出、社会福祉法人に対する指導監査の実施結果の報告

## ② 評議員会の開催

年 月 日	審 議 案 件
平成27年 5月22日 (出席者 29名)	事務局職員の給与に関する規程の一部を改正する専決処分報告、定款の一部改正(案)、平成26年度 事業報告並びに各会計決算の認定、顧問の委嘱について、会長の報酬額について、第39回伊東市社会福祉大会開催の報告と第34回ふれあい広場の開催の報告
平成27年 8月25日 (出席者 33名)	就業規則の一部を改正する規則(案)、平成 27 年度師金収支補正(案)の認定、伊東市保健福祉センターの申請及び平成 27 年度会費実績報告、第 34 回ふれあい広場の実施の報告
平成28年 1月28日 (出席者 31名)	個人情報保護に関する方針の一部改正(案)、個人情報保護規程に関する一部改正する規程(案)、平成 27 年度 資金収支計算書補正予算(案)の認定、平成 26 年度赤い羽根助成事業在宅支援用普通自動車購入の契約の締結について、運営資金の短期借入について、新保健福祉センター建設に伴う介護予防拠点施設の取り壊し後の代替え施設について
平成28年 3月29日 (出席者 34名)	平成 27 年度資金収支計算書補正予算(案)、平成 28 年度 事業計画(案)、平成 28 年度 資金収支計算書予算(案)の認定、応急貸付回収不能金の欠損処分(案)、副会長の選出、社会福祉法人に対する指導監査の実施結果の報告

## (3) 社会福祉法人連絡会の開催

市内社会福祉法人の連携・協力体制づくりを目的に、社会福祉法人の公益活動を進めるための情報交換を開催し、職員合同研修会を開催した。

- ①情報交換会
- ・開催日時 平成27年8月18日(火) 午後1時30分～午後2時50分
  - ・場 所 伊東市保健福祉センター 2階 講習室
  - ・出席者 市内 12 社会福祉法人 16 名(城ヶ崎いこいの里、伊豆高原十字の園、鑑石園、農協共済中伊豆リハビリテーション、子ども未来計画、栄光会、厚生保育会、恩賜財団済生会支部静岡県済生会、春栄会、心友会、伊東つくし会、伊東市社会福祉協議会)
  - ・内 容 社会福祉法の一部改正について、合同職員研修の開催について
- ②合同研修会(シンポジウム)
- ・開催日時 平成28年2月13日(土) 午後1時30分～午後4時00分
  - ・場 所 伊東市観光会館 第1会議室
  - ・基調提案 子ども未来計画 林 忠雄氏  
私が目指す「もの」～市民が期待する福祉職員とは!
  - ・パネリスト 城ヶ崎いこいの里 3名、伊豆高原十字の園 1名、農協共済中伊豆リハビリテーション 1名、子ども未来計画 1名、栄光会 1名
  - ・進行 伊東市社会福祉協議会
  - ・その他 合同研修会開催に向けての打合せ会議 2回

## (4) 子ども子育て支援事業者連絡会の設立・開催

社会福祉法人連絡会で提起された子育て支援事業について、同会に参加する保育園などの子育て支援事業者により「未来を育む『伊東っ子』の育成支援に寄与する」ことを目的に設立され、各法人施設から課題を提示し解決策の研究協議を行っています。平成27年12月には、7項目の課題を行政との連携による解決方策としてまとめ、市長に提言書として提起した。

(5) 苦情解決第三者委員会の開催

サービス利用者からの苦情に適切かつ迅速に対応し、解決を図るとともにサービス利用者からの苦情解決を密室化せずに円滑な解決を図る苦情解決第三者委員会を開催し、サービス改善を図った。

- ①開催回数 2回（第1回 平成27年8月6日（木）午後1時25分～午後2時30分）  
（第2回 平成28年3月24日（木）午後1時30分～午後2時30分）
- ②場 所 伊東市保健福祉センター 2階 会議室
- ③出席者 第三者委員2名・事務局7名
- ④報告件数 第1回 5件(苦情4件、要望1件)、第2回 4件（苦情4件）

(6) 善意銀行の運営

市民からの貴重な寄附金品を福祉事業の財源、施設助成、要援護者の支援に活用した。

① 寄付金の受け入れ

寄付件数	寄 付 総 額
44件	1,840,752 円

② 物品の受け入れ

寄付件数	寄 付 物 品
22件	車椅子1台、納豆 1,191食、遺失物取得品176点、菓子・果物・缶詰、ヤクルト 3,230本、タオル199枚、ぞうきん 72本、介護用品(オムツ等)、折り紙

物品の使い道:車いすの貸出、食品は市内社会福祉施設、布団は火災等にあわれた方などに支給し、遺失物はふれあい広場のバザー用品として使用したほか、タオルとぞうきんは災害への備えとして、保管した。

(7) 静岡県健康福祉大会への参加

平成27年10月16日(金)、静岡県コンベンションアーツセンター・グランシップにおいて、静岡県知事を大会会長に健康福祉県づくりの実現に向け、社会福祉並びに健康増進活動に功績のあった個人・団体として、本市から県社協会長表彰12名（民生委員 8名、施設職 5名）が表彰され、民生児童委員関係者を含め14名が参加した。

(8) 全国社会福祉大会への参加

平成27年11月20日(金)日比谷公会堂において、本市から永年にわたり地域福祉に貢献された民生委員児童委員の方1名が全国社会福祉協議会会長表彰を受け、関係者を含め2名が参加した。

(9) 広 報 活 動

①社協だよりの発行

地域福祉の推進並びに本会の活動の理解を広めることを目的に年4回（9月、10月、12月、3月）“社協だより”を全戸配布(29,800戸)し、広報啓発を図った。

②ホームページによる情報提供

市民へ迅速に情報提供を行うためにホームページを活用を行った。

(10) 関係諸会議及び研修会への参加

職員の資質向上並びに人材育成のために以下の会議・研修に職員を派遣した。

- |  |           |
|--|-----------|
| ①会長・事務局長関係会議・研修  | 4日 延べ 4名  |
| (県市町社協会長会議、市町社協事務局長会議等、東部事務局長会議)   |           |
| ②事務局職員関係会議・研修  | 39日 延べ48名 |
| (生活福祉資金貸付事業研修会・担当者会議、ファミリーサポート事業アドバイザー、共同募金事務担当者会議、生活困窮者自立支援事業研修会、生活困窮者主任相談員養成研修、会計担当者実務研修、決算実務研修、福祉教育研修、生活支援コーディネーター養成研修) |           |
| ③介護保険事業関係職員会議・研修   | 18日 延べ25名 |
| (県ヘルパー連絡協議会研修会、介護保険事業者集団指導、介護支援専門員 研修、介護保険・障害福祉サービス事業者説明会、福祉レクレーション講習会)  |           |
| ④地域包括支援センター職員会議・研修   | 18日 延べ23名 |
| (地域包括職員基礎研修、医療と介護の総合確保に向けての研修、地域保健従事者研修、認知症キャラバンメイト養成研修)   |           |
| ⑤その他   | 5日 延べ 9名  |
| (老人クラブ事務担当者・新任会長研修会、老人クラブ会長研修会、東部地区民生児童委員協議会研修会)   |           |
| 計 84日 延べ109名   |           |

## 2 地域福祉推進事業

(1) 地域での福祉を推進する基盤づくり

地域での福祉問題を発見し考え、共に解決を図るために「地域をつなぐ絆の再構築」を基本目標とする地域福祉活動計画の推進に取り組んだ。

①居場所づくり・サロン検討会の開催

地域福祉活動計画において、住民の声として、把握された「居場所づくり」や「要支援者の見守り」活動の課題が明確となり、地域での取り組みについて、意見交換を行いました。

- ・宇佐美地区居場所づくり検討会 8回開催 (女性連盟、民生委員、保健委員、宇佐美包括等)
- ・吉田地区居場所づくり検討会 4回開催 (地域住民、民生委員、保健委員、小室包括等)
- ・HACサロン検討会 2回開催 (高齢者福祉課、中央包括、伊東包括・HAC等)

②うさみの居場所「ほのぼのサロン」の開催

開催場所 城宿町会館

開催回数 6回

延参加人数 295名

③対島地域ふるさと協議会の発足・開催

伊豆高原十字の園の呼びかけによる対島地域の福祉連携会議として発足し、地域の福祉課題を共有して活動につなげている。

(2) ボランティアニーズの需給調整

ボランティア活動をしようとする個人・団体や支援を求める施設等の相談に応じ、ボランティアの需給調整を行うとともに地域のニーズ把握に努め、ボランティアの育成等活動の推進を図った。

相談件数	幹 旋			
	施設向け	在宅向け	その他	合 計
18件	13件84人	1件1人	2件5人	16件103人

### (3) ボランティア講習会・研修会の実施

#### ①ボランティア講習会（第1回）

ボランティア協会会員を対象にボランティア活動の基礎・活動・意見交換の研修を行った。

日 時 平成27年5月22日(金)13:30～15:30

場 所 伊東市保健福祉センター2階 集会室

内 容 市内社会福祉施設との意見交換を通して、今日求められるボランティア活動や活動上の課題について、グループワークを通じて、意見交換を実施した。

参加者 28名（ボランティア協会会員22名、施設職員6名）

#### ②ボランティア講習会（第2回）

日 時 平成28年3月4日(金)13:30～16:30

場 所 伊東市保健福祉センター2階 集会室

内 容 ネパールでの災害ボランティア活動報告後、ボランティア間の交流を目的にフルーワークを実施。

参加者 34名（ボランティア団体20名、個人ボランティア6名、施設職員8名）

#### ③福祉体験学習及びボランティア育成事業 (市委託事業)

中高生を対象に福祉体験学習及びボランティア育成事業を実施した。

活動日・活動場所	事業名	活動内容	参加者数
平成27年8月1日(土) 8月13日(木) 8月25日(火)	中高生夏季福祉体験講座	街づくりプロジェクトへの参画をとおし、福祉への関心を深めた。	29名  (大学生1名、高校生10名、 中学生12名、スタッフ6名)
平成27年12月5日(土) 保健福祉センター講習室	わくわくパーティ	障害当事者と家族、中高生による、おやつ作りを通じた交流。	53名  (中高生26名・障がい者・家族20名・ スタッフ7名)

#### ④街づくりプロジェクト

市内の観光・商工・福祉はじめ地域で活動する個人・団体に呼びかけ、暮らしやすい街・バリアフリーの街づくりについて、調査、情報交換をし、将来の伊東に向けた提言を行った。

活動日・活動場所	事業名	活動内容	参加者数
平成27年5月21日、6月11日、25日、7月16日、9月27日、11月24日、平成28年1月7日、21日、2月4日、18日、3月7日、8日、11日 伊東高校	街づくりプロジェクト検討会	中高生の参加を踏まえた調査内容の企画・運営、発表、意見交換、ホームページ公開に向けた準備作業を行った。	延156名

平成27年8月1日、13日、25日 伊東駅～マリントウン	街づくりプロジェクト市街地調査	中高生によるバリアフリー・観光調査を行った。	29名
平成28年3月22日(火) 保健福祉センター	街づくりプロジェクト活動報告並び意見交換会	高校生の活動報告・一般参加者を含めたグループワークを行った。	42名

(4) ボランティアビューロー（ボランティアグループ連絡会）の開催

ボランティアグループ10団体で構成するボランティア協会のボランティア相互の交流と情報交換を行った。

- ・定例会の開催 11回
- ・その他（施設研修） 1回

(5) 災害ボランティアネットワーク事業

①障害者当事者団体への防災に関する啓発等のための職員派遣

- ・自立支援協議会(知的障害部会) 1回（平成27年6月17日）
- ・NPO法人 CUOOP 1回（平成27年7月29日）

②市内介護保険事業者への防災に関する啓発等の職員派遣

- ・訪問部会と通所部会 2回

(6) ボランティア保険の加入促進

ボランティアの活動中の事故に備えて、保険の加入促進を行った。

- ・保険加入者数 47団体 976人、個人34人
- ・ボランティア行事用保険 20件 2,011人

(7) 福祉教育資材の整備並びに貸出と情報提供

①福祉教育講懇話会の開催

- ・平成27年5月15日(金) 参加者 19名
- ・平成28年3月7日(月) 参加者 14名

②福祉教育や研修会を行う際に福祉機器、資料、講師の紹介等情報提供を行った。

- ・福祉体験学習の指導 10件
- ・福祉機器の貸出 5件
- ・講師の紹介 12件
- ・福祉の情報提供 4件

(8) 第34回ふれあい広場の開催

障がい者、子どもから高齢者まで地域で暮らす人々の交流を図り、福祉関係団体、福祉施設、ボランティアによる作品展示、模擬店等を通じて、福祉への理解と関心を深めた。

- ・開催日 平成27年9月27日(日)
- ・会場 伊東市役所
- ・参加者 4,000人

(9) 第39回伊東市社会福祉大会の開催

永年にわたり社会福祉に貢献された方や団体・機関へ表彰・感謝をするために表彰式典を開催し、地域福祉推進における地域の絆づくりをテーマに講演会を通して、福祉啓発を図った。

・開催日 平成27年 6月27日(土) ・会場 市役所8階大会議室

・参加者 200人

・講演 「居場所」コミュニティカフェ“悠遊”の事例報告

講師 コミュニティカフェ“悠遊”事務局長 勝 俣 信 一 氏

### 3 在宅福祉推進事業

#### (1) ひとり暮らし高齢者交流会（ふれあいの楽しみ会）の実施

閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者を対象に地区別6回、参加者289人で市内景勝地(大室山)において、ウォーキングやレクリエーションを行い、介護予防とともに参加者相互の交流を通しての孤独感の解消を図った。民生委員(59名)の参加も年々増加しており、地域でのつながりを深めている。

#### (2) ひとり暮らし高齢者等見守り事業

市内(湯川・松原・玖須美・岡・鎌田)において、ひとり暮らし高齢者等を対象に地域での孤立しないよう月に1回以上の自宅を訪問し、安否確認を実施した。

見守り世帯数	見守り活動協力者	延べ訪問回数
1世帯	1名	14回

#### (3) 総合相談及び心配ごと相談所の運営

##### ①心配ごと相談（毎週水曜日午後1時30分～4時・伊東市保健福祉センター）

民生児童委員・市女性相談員が市民からの日常生活で抱える課題の相談に応じ、問題解決のための助言及び他機関の紹介を行った。相談件数は減少しているが、生活困窮や離婚、家族の病気など気軽に相談できる人がなく、問題が多様かつ多重になってきている。

相談事項 処理状況	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健	医療	人権・法律	財産	事故	子育て・福祉	教育青少年	身体障害福祉	子育て・福祉	老人福祉	苦情	D V	その他	合計
所内解決	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7
他機関紹介	3	0	0	0	3	0	2	1	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	1	15
合計	5	0	1	1	3	0	2	1	0	0	2	1	0	2	1	0	2	0	0	1	22

##### ②総合相談（毎週月曜日～金曜日 祝祭日を除く）

相談事項 処理状況	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健	医療	人権・法律	財産	事故	子育て・福祉	教育青少年	身体障害福祉	子育て・福祉	老人福祉	苦情	D V	その他	合計
所内解決	353	17	3	19	0	0	0	0	71	0	12	0	0	5	1	0	88	9	0	54	632
他機関紹介	20	0	3	0	7	0	19	1	0	8	39	1	0	3	0	0	2	14	0	10	127
合計	373	17	6	19	7	0	19	1	71	8	51	1	0	8	1	0	90	23	0	64	759

(4) 無料法律相談

静岡県沼津弁護士会の協力により無料弁護士相談を毎月第2・第4火曜日保健福祉センターにて、市民から相談における法的ニーズに対応した。本年度は、相談件数は5件増加しており、相談内容は相続、離婚、借金トラブルの順に多くなっている。

実施日数 21日（中止2日：申込状況による） 相談件数 97件

4 受託事業

(1) 保健福祉センター（老人福祉施設）の受託運営（指定管理期間：平成23年度～平成27年度）

指定管理制度である高齢者の健康づくり・介護予防を目的とする施設運営を行った。

① 利用者数 20,297名

内訳：老人 6,834名、各種相談 1,893名、市関係 10,479名、福祉団体 1,091名

② 開館日数 242日 ③ 一日平均利用者数 83.9人

(2) 介護予防拠点施設シニアプラザ桜木・湯川・くすみの受託運営（指定管理期間：平成24年度～平成28年度）

市内3カ所の高齢者の生きがい活動や健康増進などの介護予防施設を拠点に仲間づくりを通して、生活の活性化を目的に施設の管理運営を行った。

① 延開館日数 674日（湯川 246日、桜木 182日、くすみ 246日）

② 平均開館日数 224.6日

③ 延利用人員 16,242人（湯川 3,931人、桜木 5,842人、くすみ 6,469人）

④ 平均利用人員 5,414人

⑤ 実施内容 手芸教室、書道教室、カラオケ教室、ウォーキング教室、童謡唱歌、絵手紙教室、介護予防体操、麻雀、太極拳

(3) 介護予防・生きがい活動支援事業の受託運営（指定管理期間：平成27年12月～平成28年度）

新保健福祉センター建設のため廃止されたシニアプラザ桜木の代替場所として伊東湯川幼稚園跡を一時借り受けての受託事業を実施した。

① 延開館日数 76日

② 延利用人員 1,115人

③ 実施内容 手芸教室、書道教室、ウォーキング教室、童謡唱歌、介護予防体操、麻雀、太極拳

(4) 介護予防普及啓発事業

65歳以上の方を対象に体力や筋力低下を防ぐために介護予防と生活機能の向上を目的に、介護予防チェックリストによる参加者の状態に合わせ、一次・二次の体操教室を開催した。

① 一次予防教室（1教室10回）

教室数	開催場所	回数	参加者数	延べ参加者数
6教室	鎌田温泉会館(前半・後半)、ひぐらし会館、湯川会館、泉会館、はばたき	60回	120人	956人



②二次予防教室（1教室12回）

教室数	開催場所	回数	参加者数	延べ参加者数
4 教室	シニアプラザ湯川、シニアプラザ桜木 はばたき（前半・後半）	48回	46人	459人

③地域介護予防活動支援事業

教室数	開催場所	回数	参加者数	延べ参加者数
1 教室	シニアプラザ湯川	6回	101人	101人

(5) ファミリーサポート事業（子育て支援）の受託運営

子育ての支援を受けたい人(依頼会員)と支援する人（支援会員）、その両方を兼ねる人（両方会員）が会員として登録し、小学低学年までの子を対象に支援会員が自宅での預かり、保育園の送迎などの助け合いを通して、子育て世帯への支援を実施した。

- ① 会員登録数        1 8 9 名（依頼会員 1 3 4 名、支援会員 5 2 名、両方会員    3 名）  
 ② 支援活動実績    依頼件数    9 9 3 件    支援件数    7 4 8 件

内訳	依頼及び支援内容	依頼件数	支援件数
	保育園・幼稚園の登園前の預かり及び送り	3 8 件	3 2 件
	保育園・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	2 4 6 件	1 8 6 件
	学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	5 8 件	4 7 件
	学童保育からの帰宅後の預かり	2 7 件	2 2 件
	子どもの習い事等の場合の援助	4 4 件	4 1 件
	保育所・学校等休み時の援助	1 件	0 件
	保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	3 7 6 件	2 6 0 件
	保護者の求職活動中の援助	4 件	4 件
	保護者の冠婚葬祭、学校行事参加のための預かり	1 9 件	1 5 件
	保護者等の外出する場合の援助	1 5 8 件	1 2 6 件
	保護者等の病気、その他急用の場合の援助	5 件	4 件
	小学校、学童保育所等の開始前の預かり及び送り	1 件	1 件
	他の子どもの世話や用事の場合の援助	1 0 件	4 件
	家事を済ませる場合の援助	2 件	2 件
	慣らし預かり	4 件	4 件

③支援会員の養成

- ・開催回数        2回
- ・開催日時        第1回 支援会員講習会（平成27年 6月15日(月) 9:00～16:00）  
                      第2回 支援会員講習会（平成27年10月30日(金) 9:00～16:00）
- ・参加者数        22名（第1回 16名、第2回 6名）
- ・内 容            子どもの接し方・遊び方、子どもの病気とその看護、子どもの食事と栄養  
                      気になる子どもと保護者の関わり方
- ・講 師            市健康医療課 保健師2名、栄養士1名、ファミサポ保育士1名

④会員の情報交換及び交流会

- ・情報紙「ファミサポ通信」の発行（200部）： 年間3回（5・9・12月）

・支援会員研修会

平成28年1月13日(水)10:00~12:00保健福祉センターにおいて、支援会員12名の参加により、支援会員研修会を実施した。

・会員交流会

平成28年2月13日(土)10:00~12:00保健福祉センターにおいて、27名の参加により会員の交流を実施した。

⑤その他の活動

・宅児ボランティア(支援会員3名・アドバイザー5名)

旭小において、父兄会の際に校内での子どもの宅児を実施。(年間3回)

・イベント参加

事業内容の啓発のために「ふれあい広場(平成27年9月27日)」のイベントでのブースを設置した。

(6)生活困窮者自立相談支援事業の受託運営

平成27年4月1日から伊東市内の生活困窮者や社会的孤立者に対して生活保護に至る前の段階の経済的・社会的自立を目的に伊東市健康福祉部社会福祉課内に自立相談支援事業所「伊東市くらし相談センター ころろ」を開設。主任相談支援員1人・相談支援員1人を配置し支援を実施した。

①情報提供・相談対応 60人

相談支援員の助言により相談者の生活上問題を解決支援した。

相談内容	人数
仕事について(就労・就職活動)	12人
家計相談(滞納・未納・債務)	8人
育児・教育について	5人
住宅の問題(売却・改修・転宅)	12人
福祉・医療について(費用・要望)	15人
本人・家族の問題(病気・障がい・離婚・相続)	8人
計	60人

②他制度・他機関へのつなぎ支援 38人

相談者の課題を把握し他制度・機関と連携しながら支援を実施した。

相談内容	つなぎ先機関	人数
本人・家族の問題(病気・障がい)	社会福祉課生活保護係	19人
年金受給・就労開始までの生活		3人
所持金がない・住居がない又は喪失する恐れがある		3人
年金相談(低額・無年金の生活)		4人
障がい者の就労支援	社会福祉課障害係 障がい者就業・生活支援センター	2人
高齢による生活上の問題(病気・認知症疑い等)	地域包括支援センター	3人
本人・家族の債務について	法律相談・法律事務所	2人
融資の相談	伊東市社会福祉協議会	2人
計		38人

\*相談者の課題が重複している場合は相談者の主訴を計上した。

### ③支援プランの作成 37人

相談受付後、支援の申込みがあった相談者に対して、相談者の経済的自立・社会的孤立からの脱却を目標に支援プランを作成。生活困窮者自立支援事業法に基づくその他の事業及び関連する事業と連携して支援を実施した。

#### 【プラン作成者の支援内訳】

事業・制度名	支援内容	利用回数
生活保護受給者等就労自立促進事業	ハローワークの個別就労支援	16回
住居確保給付金	住居喪失又は恐れのある者への家賃給付	9回
就労準備支援事業	就職活動前の生活習慣の改善等の支援	6回
生活福祉資金貸付制度	生計維持を目的とした貸付による支援	5回
自立相談支援事業（こころ）	就労・意欲喚起・通院同行・家計相談等の支援	28回

### ④支援調整会議の開催 38回

市担当職員、支援実施機関担当者、社会福祉協議会担当係長、自立相談支援員で構成し、本会議にて相談者の支援プラン（案）を確定（決定・確認・評価・終結）した。

支援プランの決定	37件
支援プランの評価	29件
支援プランの終結	11件

## 5 地域包括支援センターの受託運営

保健師・看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員、介護支援専門員等の8名を配置し、地域包括ケアの基盤整備、総合相談支援、権利擁護、介護予防への取り組み包括的・継続的ケアマネジメント支援といった地域包括ケアにおけるマネジメントを担う中核機関として活動を進めるとともに広野分室で地域の高齢者の居場所づくりとして、サロン活動の運営等次のような事業を実施した。

### (1) 総合相談支援・権利擁護(虐待の防止)

高齢者のニーズを把握し、総合的な相談・支援を行い、また、高齢者の人権や財産を守るため、関係機関と連携し、高齢者の虐待防止や権利擁護に努めた。

#### ①相談件数と相談経路

相談方法	来所	電話・FAX等	訪問	その他	合計
相談件数	209人	2,085人	2,077人	320人	4,691人

#### ②主な相談内容

医療・在宅介護・認知症高齢者に関する相談とともに、体調変化の不安や精神的な支えを求める相談内容が著しく増えており、地域や家族とのつながりや支援を受けられない孤立した状況が伺われる。

- ・介護保険に関する相談
- ・介護予防に関する相談
- ・家族、経済問題等の相談
- ・権利擁護成年後見制度に関する相談
- ・医療に関する相談
- ・施設入所に関する相談
- ・制度利用の申請代行
- ・住宅改修に関する相談
- ・在宅介護に関する相談
- ・認知症高齢者に関する相談
- ・ケアマネジャーの支援

## (2) 共通的支援の基盤構築

地域に総合的なサービスネットワークの構築のため、関係機関・団体との調整を図った。

運 営 状 況	回数	運 営 状 況	回数
地域ケア会議	8	関係団体との会議	35
包括会議	4	相談協力員	0
包括部会（三職種）	25	研修会	7
その他（介護予防教室、サロン行事）	35		

## (3) 包括的・継続的マネジメント支援

高齢者に継続的なサービスが提供されるよう地域の多様な社会資源を活用したケアマネジメント体制の構築を支援した。

- ・ケアマネジメントへの支援 101回

## (4) 介護予防マネジメント

要介護認定の要支援1、2に該当する高齢者（予防給付）、特定高齢者（介護予防事業）に対して、介護予防サービス計画を作成するとともに計画に基づくサービスの提供が確保されるよう、関係機関と連絡調整を行った。

- ・新予防給付ケアプラン作成状況

年間延作成件数 3,012件（直営 1,473件、委託 1,539件）

- ・特定高齢者介護予防プラン作成状況

作成件数 45件

## (5) 地域包括支援センターなごみ分室及びサロン事業“しゃべり場”の運営

地域の福祉の拠点として福祉総合相談支援事業及び高齢者はじめ地域の人々が交流を図る場所づくりを設置し、気軽に立ち寄り、介護予防の体操、ゲーム、談話を楽しみながら、地域の絆づくりを深めるサロンを実施した。

①開設日時 月曜日～金曜日（祝祭日及び12月29日～1月3日を除く。）10時00分～16時00分

②年間開設日数 243日

③年間利用者 9,391人（男性2,499人 女性6,942人）※一日平均38.6人

## 6 公益事業（職員派遣事業）

市が運営する中央地域包括支援センターへ専門職の職員派遣事業を実施した。

- (1) 派遣職員数 3名（主任介護支援専門員1名、社会福祉士1名、介護支援専門員 1名）
- (2) 派遣業務 地域包括支援センター総合相談業務及びケアプラン作成業務
- (3) 就業場所 伊東市役所 高齢者福祉課内
- (4) 派遣期間 平成27年7月2日～平成28年3月31日

7 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）

[県社協委託事業]

高齢による認知機能の低下や障害から判断能力が不十分なため、安心して暮らせるように福祉サービスの利用支援や日常的な金銭管理サービス、書類等の預かりサービスを実施した。

(1) 会議及び研修

①日常生活自立支援事業担当者会議

・日時 平成28年 2月22日 ・場所 静岡駅前山口ビル

②運営監視合議体

・日時 平成27年 8月 3日 ・場所 静岡県総合福祉会館

③社会福祉法人のための法人後見実務研修（応用編）

・日時 平成27年11月20日 ・場所 静岡駅前山口ビル

(2) 相談件数 147件

内訳：認知症高齢者 78件、知的障がい者 2件、精神障がい者 40件、その他 27件

(3) 訪問・調査件数 125件 (4) 契約締結件数 0件 (5) 生活支援員数 5名

8 共同募金事業

(1) 静岡県共同募金会 伊東市共同募金委員会（委員数30名）の開催

年 月 日	審 議 案 件
平成27年 5月22日 (出席者28名)	平成26年度事業報告並びに寄付金会計・事務費会計決算の認定、会長の選任について
平成27年 8月25日 (出席者27名)	平成27年度共同募金(赤い羽根)実施計画の認定、平成27年度県共同募金会並びに伊東市共同募金委員会への申請状況の報告
平成27年11月25日 (出席者23名)	平成27年度共同募金(赤い羽根)の結果報告、平成27年度歳末たすけあい運動の実施・配分基準並びに配分総額について
平成28年1月28日 (出席者24名)	平成27年度歳末たすけあい運動募金の実績及び配分結果報告
平成28年3月29日 (出席者28名)	平成27年度寄付金会計・事務費会計補正予算、平成28年度事業計画並びに寄付金会計、事務費会計予算の認定、副会長の選出

(2) 共同募金（赤い羽根）運動

①募金目標額と実績額

区長、民生児童委員、町内会長・会計、女性連盟、ボーイスカウト、ガールスカウトの協力により、市民各世帯や会社、商店、篤志家、団体等市民から寄せられた募金。

(単位 円)

県目標額 (広域目標額)	市目標額 (地域目標額)	区 分 別 実 績 額				合 計
		個 別	大 口	街 頭	窓 口	
3,020,000	7,000,000	4,274,870	1,692,700	174,189	247,880	6,389,639

②県共同募金会から本市共同募金会に交付される配分金額（平成26年度配分）

配 分 先	金 額	摘 要
本市社会福祉協議会	3,680,105円	平成28年度地域福祉活動事業助成金
事 務 費	305,200円	赤い羽根事務費210,200円、歳末たすけあい95,000円
合 計	3,985,305円	

### (3) 歳末たすけあい運動

#### ① 募金実績額

目標額には達しているが、募金実績額は前年より下回っている状況である。

目標額	区 分 別 実 績 額			合 計
	大 口	街 頭	窓 口	
3,000,000円	1,284,000円	615,024円	1,244,104円	3,143,128円

#### ② 配分内容

生活に困窮する世帯(第二種世帯)を申請制度にしたことにより、前年より減少した。

配 分 対 象	配 分 金 額	摘 要
第 二 種 世 帯	1,430,000円	第二種世帯90世帯220人、第二種新入学児童7人
在 宅 障 害 者	455,000円	特別障害者手当受給者 52人、精神障害者13人
在 宅 障 害 児	175,000円	障害児福祉手当受給者 25人
交 通 遺 児	30,000円	交通遺児 3人
在宅ねたきり老人	462,000円	在宅ねたきり老人 66人
配 分 経 費	49,841円	通信運搬費、消耗品
平成28年度事務費	95,000円	
合 計	2,696,841円	

※募金実績額と配分総額(次年度運動準備金並びに配分諸経費を含む。)の収支差446,287円は、次年度の赤い羽根共同募金配分金事業費に充当される。

### (4) 老人福祉活動事業

#### 老人クラブ連合会助成事業

老人クラブ連合会の運営と事業を補助することにより高齢者の生きがいの創出並びに老人クラブ連合会活動のために助成を行った。

- ・老人クラブ連合会運営費及び事業費補助
- ・老人クラブ連合会ゲートボール大会
- ・老人クラブ連合会演芸大会
- ・老人クラブ連合会交流懇親会

### (5) 障害児・者福祉活動事業

- ・手をつなぐ育成会への助成
- ・ともだち運動会(知的障がい者)への助成

### (6) 児童・青少年福祉活動事業

#### ① 児童健全育成費助成事業

児童の健全な育成のために活動する15区の子ども会育成連絡協議会に対し、総額772,700円の助成を行った。

#### ② 子どもの遊び場助成事業(申請なし)

#### ③ ボーイスカウトの世界ジャンボリーに助成を行った。

(7) 福祉団体育成・生活支援事業（低所得者世帯援護事業）

① 福祉団体助成事業

本会と協働して、地域福祉活動を進める関係機関・団体に助成した。

・配分対象 12団体 配分額 1,017,000円

② 災害見舞金支給事業

風水害、火災等により被災された世帯に対して見舞金を支給した。

・支給なし

③緊急食糧配布事業

その日の食べ物にも事欠くという緊急性の高い経済的困窮が増加しており、2日分の食糧支援を行った。

・利用者 11人 ・延利用回数 18回 ・配布食数 19食

9 貸付金事業

他機関からの借入れが困難な低所得世帯を対象に、民生委員児童委員と連携を図り、緊急に生活費を必要とする世帯に資金の貸付と相談援助を行い、世帯の自立支援を行った。

(1) 応急貸付資金貸付事業

低所得者世帯に対し、無利子で生活費（原則3万円）を貸し付け、経済的支援を行った。

なお、貸付金額は前年比22.5%増であるが償還率は67.3%と前年より14.6%の向上となっています。

本年度貸付件数・貸付金額	回収金額		未回収金額	欠損処分額
	現年度分	過年度分		
82件 2,079,500円	86回	1,383,500円	696,000円	0円
(前年度63件1,697,000円)	46回	460,000円	7,236,420円	170,000円
	計	132回	1,843,500円	7,932,420円

※償還回数は、1件の貸付に対し、最長5カ月以内での償還であることから償還回数が上回る。

(2) 高額療養費資金貸付事業

高額医療費の支払いに困窮する国保被保険者に対し、無利子で資金を貸し付け生活の安定を支援した。

本年度貸付件数・貸付金額	回収金額		未回収金額	欠損処分額
	現年度分	過年度分		
23件 3,690,000円	19回	3,109,000円	581,000円	0円
	6回	879,000円	475,625円	0円
	計	25回	3,988,000円	1,056,625円

(3) 生活福祉資金貸付事業

[県社協委託]

本貸付制度は県社会福祉協議会が実施主体として、市社会福祉協議会が窓口となって、離職者、低所得者世帯や高齢者世帯、障がい者世帯に対し、それぞれの世帯に応じた資金の貸付を行った。

種別	件数	貸付金額	貸付対象者	貸付の内容
総合支援資金	生活支援費	0件	低所得者世帯 (離職者)	生活再建のための生活費
	住宅入居費	0件		住宅賃貸契約の費用
	一時生活再建費	0件		公共料金、転居費用等

福祉資金	福祉費	4件	918,000円	低所得者世帯 障害者世帯	生業を営む資金、技能取得 介護サービス費用、転居費用、
	緊急小口資金	3件	300,000円	高齢者世帯	一時的な生活費
教育支援 資金	教育支援費	0件	0円	低所得者世帯	就学に必要な経費
	就学支度費	0件	0円		入学に際し、必要な経費
不動産担保 型生活資金	不動産担保型 生活資金	0件	0円	高齢者世帯	不動産を担保に老後の生活 資金の貸付
計		7件	1,218,000円		

※貸付利率：連帯保証人がある場合及び緊急小口、教育資金は無利率、連帯保証人がない場合は年利1.5%。不動産担保については年利3%又は4/1現在長期プライムレート金利。

#### (4) 臨時特例つなぎ資金

公的給付制度又は公的貸付制度の開始までの生活に困窮する離職者で住居を喪失していることを条件に無利率で一時的な生活費（10万円以内）の貸付を行い、離職者の支援を行った。

件数	貸付金額	対象者	貸付の内容
1件	50,000円	住居損失の離職者	公的給付金又は公的貸付金の交付を受けるまでの生活費

### 10 指定訪問介護事業

要支援、要介護認定を受けた高齢者が、自立した日常生活を営むことができるよう身体介護や生活援助等のホームヘルプサービスを提供した。

- ① 配置職員数 常勤3名・非常勤11名（非常勤3名・登録8名）
- ② 年間延利用者数 656人（前年比 4人減）
- ③ 1ヵ月あたり利用者数 54.6人（前年比 0.4人減）
- ④ 年間サービス提供内訳 7,285.2時間（前年比 399.3時間減）

区分	身体介護	身体生活	生活援助	予防介護
時間数	1,172.2時間	2,068.3時間	1,996.4時間	2,048.3時間
構成比	16.1%	28.4%	27.4%	28.1%

- ⑤ 1ヵ月あたりサービス提供時間数 607時間数（前年比 33時間減）

### 11 居宅介護支援事業

利用契約された要支援高齢者に対し、個々の解決すべき課題に応じた介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、要支援者の自立支援に行った。本年度は11月から1名増員し、4名の職員体制で運営を行った。

- ① 配置職員数 常勤3名、非常勤 1名
- ② 年間延作成数 1,048プラン（前年比 29プラン減）

内訳	要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
作成数		417	307	145	94	85
構成比		39.8%	29.3%	13.8%	9.0%	8.1%

- ③ 1ヵ月あたり作成数 87.3人（前年比 2.3人減）



④ 介護予防プランの受託（地域包括支援センターからの受託事業）

介護保険における予防給付の対象となる要支援者に対し、介護予防サービス計画を作成し、サービスの需給調整を行った。

介護予防プラン年間延作成数 8プラン（前年比 8プラン減）

## 1.2 指定訪問入浴事業

### (1) 指定訪問入浴事業の運営

要介護者の自宅において、移動入浴車による入浴サービスの提供を行った。

- ① 配置職員数 常勤3名(看護師1名、介助員2名)・非常勤4名(看護師1名、介助員3名)
- ② 年間延利用者数 246人 (前年比 41人減)
- ③ 1ヵ月あたり利用者数 20.5人 (前年比 3.4人減)
- ④ 年間実施回数 1,224回 (前年比 310回減)
- ⑤ 1ヵ月あたり実施回数 102回 (前年比 25.8回減)

### (2) 障害者訪問入浴事業の受託

行政の委託により在宅重度障害者への移動入浴サービスを実施した。

年間派遣 実人員	年間派遣 延世帯数	年間延 実施回数	1ヶ月平均 実施回数
2名 (前年と同じ)	24世帯 (前年比7世帯増)	187回 (前年比116回増)	15.6回 (前年比9.7回増)

## 1.3 福祉用具貸与事業

### (1) 指定福祉用具貸与事業の運営

要支援・要介護者へ自立した日常生活と介護負担の軽減を図るために福祉用具の貸与を行った。

- ① 配置職員数 3名(兼務)
- ② 年間延利用者数 258人 (前年比 44人減)
- ③ 1ヵ月あたり利用者数 21.5人 (前年比 3.7人減)
- ④ 年間貸与品目数 1,093品目 (前年比 253品目減)

内訳	品名	車椅子	特種寝台	エアーマット	その他
	数量		152	766	52

- ⑤ 1ヵ月あたり貸与品数 91.1品目 (前年比 21.1品目減)

### (2) 身体障害者福祉用具貸与事業の運営

介護保険非該当の高齢者並びに在宅障害者に対し、福祉用具の貸与を実施した。

車椅子	ポータブルトイレ	歩行補助具	その他の福祉用具
64件	15件	0件	9件

※その他の福祉用具：シャワーチェア、杖

#### 14 障害福祉サービス

日常生活を営むのに援助が必要な身体障害者及び知的障害者・児童、精神障害者へホームヘルプサービス事業を実施した。

##### (1) 居宅介護事業

- ① 実 利 用 人 員            23人    (前年比 5人増)
- ② 年間延利用人数        276人    (前年比 93人増)
- ③ 年間サービス        3,571時間    (前年比1,198.5時間増)

提供時間数

内訳

身体介護	家事援助	同行援護
932時間	1,827時間	812時間

#### 15 その他

その他、地域福祉推進のために関係機関・団体との連絡調整及び協力・支援を行った。

- (1) 伊東市遺族会が実施する戦没殉難者慰霊祭（実施日 平成27年6月1日（月） 会場 小室山公園）の式典運営への協力を行った。
- (2) 伊東市介護保険事業者連絡会の事務局として、運営への協力を行った。

以上